

令和元年度 厚生労働行政推進調査事業費補助金（慢性の痛み政策研究事業）
分担研究報告書

慢性疼痛診療システムの均てん化と
痛みセンター診療データベースの活用による医療向上を目指す研究

研究分担者 二階堂 琢也 福島県立医科大学整形外科学講座 准教授

研究要旨

慢性疼痛診療ガイドラインを作成し、慢性疼痛治療に関わる多くの医療者に最新のエビデンスを提供する。また、慢性疼痛診療ガイドライン作成にとどまらず、その効果や影響を検討することにより、次期の改訂にも貢献できると考えられる。

A．研究目的

慢性疼痛診療ガイドラインの作成を行う。前回の慢性疼痛治療ガイドラインの内容に最新のエビデンスを加えることにより、慢性疼痛治療に関わる医療者により有用な情報を提供する。

B．研究方法

厚生労働省の診療ガイドライン作成の標準形式である医療評価機構 EBM 普及推進事業（Minds）によるガイドライン作成方法の学習会を数回開催。

慢性疼痛診療ガイドライン作成ワーキンググループメンバーによる全体会で内容の検討。（倫理面への配慮）

慢性疼痛患者代表の意見を取り入れ、患者に配慮する表現で記載をすることとした。

C．研究結果

厚生労働省の診療ガイドライン作成の標準形式である医療評価機構 EBM 普及推進事業（Minds）によるガイドライン作成方法を慢性疼痛診療ガイドライン作成ワーキンググループメンバーおよび執筆に携わる協力者を対象に学習した。

また、慢性疼痛診療ガイドラインの内容について慢性疼痛診療ガイドライン作成ワーキンググループメンバーによる全体会でクリニカルクエスションの決定などを行った。また、担当者を決定した。

D．考察

「Minds 診療ガイドライン作成マニュアル 2017」による作成方法の理解が十分に行き渡らないこともあったので、追加の講習なども

企画した。

E．結論

「Minds 診療ガイドライン作成マニュアル 2017」に準拠した慢性疼痛診療ガイドラインを作成することとした。

F．健康危険情報

総括研究報告書にまとめて記載

G．研究発表

1. 論文発表

・X 線診断 Q&A(整形外科 70 巻 9 号: 971-971 2019)

・脊椎脊髄外科領域で遭遇する転換性障害（ヒステリー）(脊椎脊髄 33 巻 3 号: 205-214, 2020)

・腰痛の診かた (Orthopaedics 33 巻 3 号: 19-26, 2020)

・Reference values of the Japanese Orthopaedic Association Back Pain Evaluation Questionnaire in patients with lumbar spinal stenosis and characteristics of deterioration of QOL: Lumbar Spinal Stenosis Diagnosis Support Tool: DISTO project). (J Orthop Sci 24 (4): 584-589, 2019)

・ Emotional Effects on Factors Associated with Chronic Low Back Pain. (J Pain Res 12: 3343-3353, 2019)

2.学会発表

・ 地域住民における傍脊柱筋の脂肪変性と腰部脊柱管狭窄との関係 南会津スタディ (第48回日本脊椎脊髄病学会)

・ 腰椎疾患による神経障害性疼痛の特徴 痛みへの認知, 心理的問題, QOL との関係 (第92回日本整形外科学会学術総会)

・ Relationship between degenerative changes in paraspinal muscles and lumbar spinal stenosis in the community (46th ISSLS Annual Meeting)

・ Characteristics of neuropathic pain due to lumbar spine disorders: Relationship with recognition of pain, psychiatric problems, and HR-QoL (46th ISSLS Annual Meeting)

・ 頸椎疾患に対する脊椎内視鏡と 0-arm ナビゲーション併用手術の有用性 (第68回東日本整形災害外科学会)

・ プライマリケア医のための腰痛診療 Update 腰痛診療ガイドライン 2019 に基づく最新の薬物療法 (第33回日本臨床内科医学会)

・ 疼痛と神経科学 慢性腰痛の診断と治療 集学的アプローチの現状と課題 (第49回日本臨床神経生理学会学術集会)

・ 心因性が疑われる高齢の慢性疼痛患者における脳血流の変化 (第49回日本臨床神経生理学会学術集会)

・ 腰椎変性疾患における固定・非固定を再考する-エビデンスに基づいた術式選択のために- (第6回青森骨軟骨シンポジウム)

・ 腰痛診療ガイドライン 2019 に基づく最新の薬物療法-有症期間からみた鎮痛薬選択のポイント- (第13回日本薬局学会)

H .知的財産権の出願・登録状況(予定を含む)

1.特許取得

特になし

2.実用新案登録

特になし

3.その他

特になし